

会 議 録

付属機関又は会議体の名称		教育に関する事務の点検・評価委員会(第4回)	
事務局(担当課)		教育委員会事務局 教育総務部 教育総務課	
開催日時		平成25年7月30日(火)午前9時00分～午前11時10分	
開催場所		豊島区役所地下一階 第4会議室	
出席者	委員	飯塚委員長、壺内委員(職務代理)、和田委員	
	関係者	教育長、教育総務部長、学校施設課長、 教育指導課長、統括指導主事	
	事務局	教育総務課長、教育総務課庶務係長、教育総務課主事	
公開の可否		(公開)・非公開・一部公開	傍聴人数 0人
非公開・一部公開の場合、その理由		/	
会議次第		<p>《議事》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校視察評価表について 2. 事業ヒアリングと総合評価 <ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上 能代市との教育連携、区独自の学力調査、中学校補習支援 ・都市型環境教育の推進 環境教育研修 ・学校施設環境改善交付金 3. 日程確認 	

審議経過

飯塚委員長)

それでは、第4回教育に関する点検・評価委員会を開会いたします。

【議事】

1. 学校視察評価表について

飯塚委員長)

まず、学校視察評価表について、教育総務課長からご説明いただきます。

＜教育総務課長 資料説明＞

飯塚委員長)

この件について、壺内委員、何かありますか。

壺内委員)

西池袋中学校の学力の向上についてですが、1年生から3年生までで進級する間に確実に学力が向上していると感じました。特に3年生の学力はとても向上していますし、チューター事業の効果もでていていると思います。課題としては、中学校は、家庭との連携が小学校よりも弱いというところだと思います。

飯塚委員長)

和田委員、いかがですか。

和田委員)

西池袋中学校は運動が盛んなイメージがあったのですが、学力調査の結果をみて、とても良い結果がでていたので驚きました。池袋地区は他の地区より外国籍の子どもが多いように思います。日本語を勉強しながらもそのような子どもたちがとても頑張っているのかなと感じますし、先生方が一生懸命に取り組まれた成果だと思います。

また、西池袋中学校の新しい校舎はとても魅力的です。校舎が新しいことと学力が向上していることが注目されます。新しい校舎なので、私立に入学できるような学力の高い子どもが入学してきたのか、勉強に力が入るのか、そのような視点で分析していただきたいと思います。

飯塚委員長)

大変重要な指摘だと思います。

西池袋中学校のアンダーラインの部分ですが、「生徒や地域の人の力を借りて」とありますが「力を活かして」という表現のほうが良いと思います。

では、学校視察評価表について、他に意見はありますか。

教育長)

先程の和田委員のご質問について、少し補足したいと思います。西池袋中学校は新校舎になって、隣接校選択の際に初めて抽選になりましたので、新しい校舎はやはり魅力があるのだと思います。それと学力とのつながりについては、まだ分析できていませんが、学校の取組みとあわせて分析していきたいと考えております。

飯塚委員長)

保護者が、一番興味があるのは、子どもたちの進路だと思います。卒業生が良い高校に入学したとなると地域に対しても説得力を持ちます。そのためには、子どもたちの学力向上は非常に重要です。

教育総務部長)

隣接校選択の際に、従来は千登世橋中学校を選択する方が多かったのですが、今年は千登世橋中学校の学区から西池袋中学校を選択する方もおりました。また、都心部に引っ越してくるご家庭の保護者の方は教育に熱心な方が多いという印象です。そういったことから、学力の高い子どもたちが西池袋中学校に入学するということもあるかと思いますが、各学校の現1年生を比べると学力にそんなに差はないというのが現状です。西池袋中学校の現3年生が1年生、2年生と学年が上がるにつれて、学力が向上しているという結果は学校の取組みによる成果だと考えております。

飯塚委員長)

では、この件はよろしいですか。

(委員異議なし)

2. 事業ヒアリングと総合評価

飯塚委員長)

次に、学力の向上に関する各事業の評価を行います。教育指導課長から「区独自の学力調査」についてご説明いただきます。

<教育指導課長 資料説明>

飯塚委員長)

では、和田委員いかがですか。

和田委員)

かなり細かく分析されており、とても良いですね。学力のグラフが上昇しているA中学校と下降気味のB中学校での取組みの差を分析しているのが良いと思いました。A中学校は運動も力を入れておりますし、バランスが非常に良い学校だと思います。心と体のバランスがとれていることが、下位層の子どもたちの学習に対する意欲に表れているのかもしれない。

壺内委員)

この分析の方法はとてもわかりやすいと感じました。区の学力調査を先生方も活用しやすいと感じます。全国学力調査の意識調査も他県と比べ、東京都の値は低いです。学力は高いかもしれませんが家庭での学習量が少ないという現状を学校が上手くカバーできていると感じます。

飯塚委員長)

文部科学省の調査で数年前にフィンランドが注目されました。フィンランドでは質の高い教員教育を実施しており、日本との大きな違いはそこだと感じたことがあります。その教員の力とあわせて、子どもたちの基礎学力が重要です。

基礎学力の定着に個人差がある要因として、子どもたちの学力向上に関わるものは7つあります。教師はこの7つの要因に注目することがとても大切です。要因の第一は健康で

す。子どもたちの体調が悪いと学習の定着度が変わってきます。第二は性格で、勉強に向く性格かどうかです。第三は相性です。教師はもちろん友達との相性も重要です。第四に、知能です。素質の60%を発揮している子どもと素質の90%を発揮している子どものテストの点数が同じくらいということもあります。子どもたちの知能には差がありますが、テストで素質の何パーセントを発揮したかは、学力調査の結果だけでは見抜けません。教師や学校は、子どもたち一人ひとりがどのくらいの力を出してテストに取り組んだのかという視点からも考え、指導する必要があると思います。第五は興味です。学習に興味があるかどうかは学力に大きく影響します。第六は学習習慣です。家庭で予習や復習を実施しているかです。そして第七が過去の基礎学力の定着度です。6年生になったときに4年生で学習した内容が定着していないといけません。この7件の要因があるため、個人差を考慮せず子どもたち全体を対象にした授業をしてはいけないということを教員に指導する必要があります。

また、この他にも外部の要因として、家庭の物理的な環境と心理的な環境があります。本がたくさんあって勉強しやすいとか、親が子どもの学習に対してどのような意識をもっているのかということもです。また、学校の静的な環境と心理的な環境も外部の要因です。動物を飼育していたり、図書館を活用していたりという静的な環境と教員と子どもたちの相性という心理的な環境です。そして、地域が住宅街か繁華街かという要因もあります。

これらの様々な要因がありますが、重要なのは子どもたち一人ひとりの評価です。ある子どもがとても頑張っていて、力を出しきって40点をとったときには褒めてあげることが大切です。教師は一人ひとりの子どもがおかれている環境を把握して、宿題を出すにしても一人ひとりにあった対応をするなど、教師の応用力が大切だと感じます。

教育長)

ご指導ありがとうございます。本区の学力調査では、経年で実施することによって一人ひとりの伸び幅が把握できるようになっています。これは、先生がおっしゃった個人の評価に当てはまると思いますし、この伸び幅に注目して活かしていかなければ意味がないと感じています。

飯塚委員長)

平均点よりも一人ひとりの子どもの学力がどれだけ伸びたかが大切です。

アメリカへ留学した経験があるのですが、そこで子どもたちの個性に応じた教育に触れました。一人ひとりの子どもの個性を活かす教育は重要です。能代市から学んだこともそのまま実践するのではなく、豊島区の子どもたちに合わせた活用をすることが大切です。

壺内委員)

個性に応じた教育をするのであれば、個別指導にどこまで対応できるかという点も重要です。教師が一人ひとりの子どもに向き合う時間をどれだけ確保できるのかが大切です。

飯塚委員長)

豊島区では私立へ行く児童・生徒も多いと思いますし、能代市の学力を超えるのは難しいことだと感じますが、豊島区にあった方法で学力の向上を目指していただければと思います。

では、次に能代市との教育連携について、教育指導課長からご説明いただきます。

＜教育指導課長 資料説明＞

飯塚委員長)

能代市との教育連携について、壺内委員、ご意見はありますか。

壺内委員)

能代市と豊島区の教育活動の相互交流を事業として実施しており、視察だけではなく、実際に能代市の教員が授業を実施して、それを悉皆の研修とすることで豊島区の多くの先生が参加できます。アイデアも素晴らしいと感じました。

和田委員)

南池袋小学校の児童はステージの上で授業をするのですか。

教育指導課長)

そうです。

和田委員)

素晴らしいアイデアですね。先生方に多くを吸収していただいて、豊島区にきてよかったですと思える研修にさせていただきたいと思います。

富士見台小学校では若い先生が多いということで、富士見台スタンダードを作ったり、各校で様々な取組みをされていると思います。授業の基本を徹底して、指導を統一させ足並みをそろえていこうということでしたが、これは保護者にも伝えていくべきメッセージだと感じました。家庭教育の大切さを保護者に訴えかけることが大切ですし、現在の PTA は学校のお手伝いという形になっているように感じます。PTA は家庭教育を推進していくべきです。能代市との連携を保護者にもきちんと情報提供して、家庭教育を推進していけたらよいと思いました。

飯塚委員長)

私は、教育専門監に興味があります。このような専門家を確保することは予算等の課題があると思いますが、国に配置することを定められたわけでもないのに秋田県では自治体が自主的に配置しています。スクールカウンセラーを派遣したように、教育専門監を派遣することができれば、学力の向上につながると感じました。

教育長)

東京都も指導教諭の制度を導入します。これは授業の指導を専門とした職です。示範授業等を実施し教員の援助を高めるということを目指しています。主幹教諭の試験の受験者も減少傾向ですので、指導教諭にはたくさんの研究の場を経験して若手の育成のために頑張っていただきたいと考えています。

また、豊島区が能代市と教育連携を締結していることは、他の自治体からも興味深いところのご意見をいただいております。教育専門監の素晴らしい授業を多くの方に見ていただきたいです。

飯塚委員長)

本来ならば、指導主事が教育専門監を担わなければいけないと思いますが、現在の指導主事の選考方法ですと必ずしも指導に長けている人材が選考されているとは限りません。

豊島区全体のレベルアップを図るならば、やはり指導力の向上のための取組みをして教員を育てていかなければいけません。

壺内委員)

教育専門監は役所に配置されているのですか。

統括指導主事)

県費の職員ですが、学校所属の教員として配置されています。近隣の2校から3校の学校を担当しています。秋田県全体で70人程度、能代市には2人配置されています。

飯塚委員長)

豊島区の教員一人ひとりが高い意識をもって、シンポジウムに参加することが大切です。では、次に中学校補習支援についてご説明いただきます。

<教育指導課長 資料説明>

飯塚委員長)

和田委員、ご質問はありますか。

和田委員)

なぜ12月が多いのですか。夏休みに実施したほうが良いと思うのですが、いかがでしょうか。

教育指導課長)

受験前の準備として実施している学校が多いです。また、新しい事業なのでチューターの手配に手間取った学校もありました。

壺内委員)

これは、学習支援員のような授業のお手伝いではないということですね。

教育指導課長)

そうです。

飯塚委員長)

チューターと教員の連携はどうなっていますか。

教育指導課長)

各学校で必要な打ち合わせは実施しておりますが、一斉授業というよりは子どもたちの自学自習を見守り、解らない問題があれば個別指導をするという取組みです。

飯塚委員長)

補習も教員がメインで指導して、チューターがその手伝いをするという取組みはしていないのですか。

教育指導課長)

チューターは学生ですので、授業をすることはできませんし、補習としてプリントをしたりすることが中心になっています。

和田委員)

1日あたりの時間数はどのくらいですか。

教育指導課長)

放課後ですので、1回2時間程度です。

和田委員)

生徒の参加率はどうか。塾に通っていない生徒も参加していますか。

教育指導課長)

一番のねらいは、塾に通っていない生徒や、家庭学習が苦手な生徒に参加していただくことですが、そのような生徒も参加しています。

和田委員)

そのターゲットになっている生徒が参加していなければあまり効果がないと感じます。

教育長)

この事業は当初、教育センターで実施していましたが、地理的な問題もあり参加してほしい生徒になかなか参加していただけないという状況でした。そこで、各学校で実施することとし、教員が職員会議をしているときに補習を実施したりして、有効に活用しております。

壺内委員)

生徒との年齢も近いので子どもたちも親しみやすいかもしれませんね。

飯塚委員長)

担当の先生でないことは、成績の評価に反映されないので生徒も気が楽かもしれません。ですが、チューターと担当の先生が情報を共用提供し、より良い授業づくりを目指していただきたいと思います。

以上で学力の向上に関する各事業についての審議が終わりました。

それでは、各事業について評価をいたします。

飯塚委員長)

壺内委員、区独自の学力調査については、いかがですか。

壺内委員)

効率性、有効性ともに A でよいと思います。

和田委員)

私も同意見です。

飯塚委員長)

では、区独自の学力調査は効率性、有効性ともに A をお願いします。

次に、能代市との教育連携について、壺内委員、いかがですか。

壺内委員)

とても良い事業だと思います。どちらも A でよいと思います。

飯塚委員長)

非常に話題性もある事業ですし、豊島区のねらいはとても良いと思いますが、参加する教員の意識はどうなのかが重要だと感じます。そこを評価の対象にすべきだと思いますが、いかがでしょうか。

教育指導課長)

評価すべき対象だと思います。今年度派遣した教員は30代の主任教諭で、とても研究熱心なのですが、管理職や学校全体の経営や区の施策を引っ張っていくという意識は少し

弱いと感じております。第1回目の派遣で教員の特長もつかんでおりますので、第2回目の派遣では、能代市のこういうところをもっと勉強した方が良い等の指導をして、豊島区の代表として参加しているという意識を高めているところでございます。

和田委員)

シンポジウムの結果をそれぞれの先生が自校で活かすということが重要です。昨年度のシンポジウムは、能代市との連携についてのお話を聞くことがメインだったので先生の力となる具体的な内容が少なかったように感じます。ですが、今年度は教育専門監の模擬授業を見ることができるといことなので、先生の意識の向上につながればよいと思います。シンポジウムの内容も大変良くなったと思いますので、先生の意識を少しずつ高めていただければと思います。評価はどちらもAでよいと思います。

飯塚委員長)

では、シンポジウムについては、効率性、有効性ともにAでよいですね。

中学校補習授業についてはいかがでしょうか。

壺内委員)

この事業は成果を把握する必要があると思います。そこが一番重要だと感じます。

和田委員)

参加している子どもの意識が重要だと思います。学校側は、子どもたちの学習意欲を高めるよう働きかけ、参加を勧めていけると良いと思います。

飯塚委員長)

チューターの資質については、問われないのですか。

教育指導課長)

基本的には、各学校でチューターを選考していますが、教育実習や水曜トライアルスクールの講師として来ていた人材を採用している学校が多いです。すでに子どもたちと馴染みがあったり、子どもと接するのにふさわしい人材だと考えて採用しています。

壺内委員)

効率性、有効性ともにAでよいと感じます。

和田委員)

同意見です。

飯塚委員長)

では、効率性、有効性ともにAということでお願いします。

以上で、学力の向上に関する各事業の評価が終わりました。学力の向上について総合評価をいたします。教育総務課長から総合評価について、説明をお願いします。

<教育総務課長 資料説明>

飯塚委員長)

教育委員会の各事業及び学校視察の評価を考慮して総合評価を行います。

総合評価はAでよいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員全員異議なし)

飯塚委員長)

それでは、学力の向上評価は A でお願いいたします。

次に、都市型環境教育の推進の③環境教育研修について、教育指導課長からご説明いただきます。

<教育指導課長 資料説明>

飯塚委員長)

いかがでしょうか。

和田委員)

環境教育を推進することはお金をかけなくても実施することが可能です。学校で育てた食物を給食で出すことも環境教育だと思います。学校の特色にあわせた環境教育を実施することが大切だと思いますので、環境教育の研修もそれに合せたかたちで実施できると良いと思います。理科の教員でなくとも、学校に咲いている花の名前を子どもたちに教えたりすることは環境教育だと思います。教員の意識が高まるような研修が良いと思います。

飯塚委員長)

、学校にはどのくらい木が植えられていますか。

学校施設課長)

小・中学校あわせて全31校あり、各学校の面積によって木の本数は違いますが、それぞれの学校に植えられるだけ植えています。

飯塚委員長)

大切なのは、生徒の身近にある環境で学習することです。それを題材にした研修が実施できればよいと思います。

壺内委員)

環境教育研修をどのように実施しているかをもう少し詳しく教えていただきたいです。また、富士見台小学校では、学校をあげて環境教育を推進していますが、他の学校では環境教育研修にどれくらい力をいれて取り組んでいるのか、研修を受講したらどのように他の先生に情報を提供しているのかという点も教えていただきたいです。

教育指導課長)

環境教育研修は、年1回の実施です。各小・中学校から1名ずつ参加していただきます。昨年度は、自校の「学校の森」をどのように活用していくかという内容の研修を実施しました。中学校は教科担任制ですので理科の教員だけに環境教育を任せることになってしまいがちですが、壺内委員のおっしゃるとおり学校全体で環境教育を推進していく必要がありますと感じます。周知の方法については、今後工夫して取り組んでいきたいと思っています。

飯塚委員長)

自然は復元力があります。その復元力を超えた自然破壊が問題となっています。環境の大切さを学ぶためには、実際に自然に触れることが大切です。豊島区にはそのような環境が少ないことから難しいと思いますが、自然に触れる機会を多く設けていくことが大切だと思います。

教育長)

豊島区の緑被率は約12パーセントと非常に低い数字で、10年間で10万本の緑を植

えるという目標があります。そして、学校に可能な限りの植樹を実施することとなりました。植樹は子どもたちには大変良い経験になりますし、駒込は桜が有名な地域ということもありソメイヨシノは豊島区が発祥の地であることもアピールしています。

都会でどのように環境教育を推進していくかが重要になってくるかと思いますが、富士見台小学校のビオトープではホタルが飛んでいますし、子どもたちが綺麗な水を管理して努力しています。その結果、生きるということを学び、先生も様々なプログラムを開発しております。豊島区には大きな河川もありませんし、自然も少ないのですが、身近な自然を利用した都市型の環境教育を推進していくことが大切だと考えております。

飯塚委員長)

木を植える時も子どもたちが好きな木を植えられると良いと思います。情操教育にも役立つと思いますので、ミカンなどの果物を収穫できたり、見た目の良い木が育つと良いですね。子どもたちも興味を持つと思います。

学校施設課長)

現在、実のなる木の森やビオトープや田んぼを作ったり、テーマを持った森を作るという計画を進めております。

飯塚委員長)

是非、そのような方向で進めていただけると良いと思います。

評価はいかがですか。

壺内委員)

どちらも A でよいと思います。

和田委員)

同意見です。

飯塚委員長)

環境教育研修については、効率性、有効性ともに A でお願いします。

それでは、前回の西池袋中学校の改築及び芝生の維持管理の評価と学校視察の評価をあわせて総合評価を行います。芝生の維持管理が B となっていますが、総合評価としては A でよいと思いますがいかがでしょうか。

(委員全員異議なし)

飯塚委員長)

では、A でお願いします。

最後に、学校施設環境改善交付金の評価を行います。学校施設課長、説明をお願いします。

<学校施設課長 資料説明>

飯塚委員長)

壺内委員、いかがでしょうか。

壺内委員)

改築、空調やトイレの設備まで、快適な学校環境を作ることは、子どもたちも精神的に落ち着くと思います。交付金を上手く活用されているなど感じます。

和田委員)

良いと思います。非常に綺麗ですね。トイレの改修はどの学校からも要望があると思いますが、今後も計画的に改修していただきたいです。

目白小学校の校舎もとても良いものになりそうですね。

三田教育長)

目白小学校では、残せる樹木を全て残して、北側の道路をコミュニティ道路にして、緑があふれる空間をつくります。また、ICTの利用を進めるため、図書館とICTを兼ね備えた教室を学校の中心につくるという計画もあります。防災の拠点としてもしっかりと活用できるよう計画しております。

和田委員)

校舎と校庭が今とは逆になるのですね。

学校施設課長)

ヒマラヤ杉を残すことを考え、このような形となっております。

飯塚委員長)

良い考えですね。

とても良い学校になりそうですが、近隣の学校からご意見はありますか。

学校施設課長)

近くに高南小学校がありますが、もともと目白小学校は人気が高く、定員以上の応募があります。

教育総務部長)

この地域は、今後子どもたちが増えることが想定されている地域です。目白の人気が高まっても高南小学校では今後適正な児童数を維持していくことが期待できます。

飯塚委員長)

合併する計画はないのですか。

教育総務部長)

現在の段階ではそのような計画はありません。高南小学校の学区域は子どもの数が多いのですが、敷地面積が小さい学校です。一方、目白小学校の学区域は子どもの数は少ないのですが、敷地面積は比較的大きいのです。高南小学校の学区域から目白小学校を希望する方がいることで、むしろ両校の学校の適正規模を維持することが期待できます。

飯塚委員長)

では、効率性と有効性を評価したいと思います。壺内委員、いかがですか。

壺内委員)

どちらもAでよいと思います。

和田委員)

同意見です。

飯塚委員長)

では、効率性、有効性ともにAをお願いします。

以上で評価を終了します。

3. 日程確認

＜事務局 日程の確認＞

飯塚委員長)

第5回で能代市との教育連携の一環であるとしま教育フォーラムに出席し、第6回は午後3時30分から午後5時30分で開催するということをお願いいたします。

それでは、第4回教育に関する事務の点検・評価委員会を終了いたします。

・提出された資料

資料No. 4-01 学校視察評価表

資料No. 4-02 評価表（学力の向上）

資料No. 4-03 評価表（都市型環境教育の推進）

資料No. 4-04 評価表（学校施設環境改善交付金）

教育指導課説明用資料

学校施設課説明用資料